

2024年4月23日

県内景況

株式会社 鹿児島銀行
株式会社 九州経済研究所

最近の県内景況は、消費関連が回復し、観光関連、投資関連がやや持ち直している。一方、雇用情勢は横ばい、畜産関連が弱含み、生産活動が低調となっている。足元では、コロナ5類引き下げによる社会経済活動が再開し、全体として回復傾向が続いているものの、物価上昇の影響がみられる。

生産活動は、1月の鉱工業生産指数が19か月連続で前年を下回った。食料品、窯業・土石製品は前年を上回ったが、電子部品・デバイス、電気・情報通信機械は前年を下回った。

畜産関連では、3月の肉用牛（和牛）枝肉価格は、去勢A4は前年を下回り、去勢A3は前年を上回った。一方、豚肉、ブロイラーもも肉、むね肉、鶏卵相場はいずれも前年を下回った。

個人消費関連は、3月の乗用車新車登録台数、軽自動車届出台数は前年を下回った。一方で、2月の家電大型専門店販売額はほぼ前年並み、2月の百貨店・スーパー販売額、ドラッグストア販売額、コンビニエンスストア販売額は前年を上回った。

観光関連では、3月の主要ホテル・旅館宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は、2か月ぶりに前年を下回ったものの、前年宿泊療養施設だった先を含めると、2か月連続で前年を上回った。種子島・屋久島地区は3か月連続で前年を上回り、奄美地区は2か月ぶりに前年を下回った。主要観光施設入場者数は、ほとんどの調査対象施設で前年を上回った。

投資関連では、公共工事請負金額、新設住宅着工戸数は前年を上回り、民間建築工事費予定額は前年を下回った。

雇用情勢は、2月の有効求人倍率は前月を0.03ポイント上回る1.21倍となった。

【生産活動】... 低調

電子部品関連は、5G関連の需要が回復しない一方、スマホ向けなどでは底打ちの動きもみられる。

2月の焼酎生産は、5か月ぶりに前年を下回り、出荷量は2か月ぶりに前年を下回った。

1月のかつお節生産は、16か月ぶりに前年を下回った。

3月の生コン生産（出荷量）は、公共工事向けが7か月連続で前年を上回り、民間工事向けは6か月連続で前年を下回り、全体では2か月連続で前年を下回った。

3月の紙パルプ生産は、2か月連続で前年を上回った。

木材関係は、スギの製品相場が前年を下回った。

【畜産関連】... 弱含み

3月の子牛の出荷頭数は前年を上回り、価格は前年を下回った。3月の肉用牛（和牛）の枝肉価格（東京食肉市場）は去勢A4が3.4%減で4か月ぶりに前年を下回り、去勢A3が1.3%増で4か月連続で前年を上回った。2月の枝肉生産量は前年を上回った。

3月の豚肉相場（東京食肉市場・上）は4.2%減と2か月ぶりに前年を下回った。2月の枝肉生産量は前年を上回った。

3月のブロイラー相場（東京地区）は、もも肉は15.5%減と7か月連続で前年を下回り、むね肉は7.9%減と5か月連続で前年を下回った。3月の処理羽数は前年を上回った。

3月の鶏卵相場（JA全農・東京M）は38.5%減と5か月連続で前年を下回った。2月の配合飼料価格は8か月連続で前年を下回った。

【消費関連】... 回復

2月の百貨店・スーパー販売額は、衣料品、飲食料品が前年を上回り、全体では2か月連続で前年を上回った。

2月の専門量販店販売額は、家電大型専門店はほぼ前年並み、ドラッグストア、コンビニエンスストアは前年を上回った。

3月の乗用車新車登録台数は、3か月連続で前年を下回った。車種別にみると、普通車は2.2%増、小型車が42.0%減となった。

3月の軽自動車届出台数は4か月連続で前年を下回った。一部メーカーの認証不

正による出荷停止の影響があった。

【観光関連】... やや持ち直し

3月の主要ホテル・旅館宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は、2か月ぶりに前年を下回った。関東、中部などからの入り込みや個人客が減少した。ただし、前年鹿児島地区の宿泊療養施設だった先を含めると、2か月連続で前年を上回った。

鹿児島地区は、関東、関西、九州などからの入り込みや個人客が減少し、2か月ぶりに前年を下回った。ただし、前年宿泊療養施設だった先を含めると、2か月連続で前年を上回った。

霧島地区は、関東などからの入り込みや個人客が減少し、4か月連続で前年を下回った。

指宿地区は、中部、関東などからの入り込みや個人客が減少し、2か月連続で前年を下回った。

種子島・屋久島地区は3か月連続で前年を上回り、奄美地区は2か月ぶりに前年を下回った。

3月の主要観光施設入場者数は、ほとんどの調査対象施設で前年を上回った。

【投資関連】... やや持ち直し

3月の公共工事は、件数は前年を下回ったが、請負金額は前年を上回った。

2月の民間建築工事着工は、棟数は前年を上回ったものの、床面積、工事費予定額は前年を下回った。

2月の新設住宅着工戸数は、持家が前年を下回ったものの、貸家、分譲が前年を上回り、全体では3か月ぶりに前年を上回った。新設住宅着工戸数の合計の3か月移動平均はほぼ前年並みとなった。

2月の主要建設資材卸売業者の売り上げは、4か月連続で前年を上回った。

【貿易関連】... 輸出額、輸入額ともに前年を上回った

2月の輸出額は、パルプ及び古紙が前年を下回ったものの、ゴムタイヤ及びチューブ、食料品及び動物、木材が前年を上回り、全体では30.4%増と5か月連続で前年を上回った。輸入額は、原油及び粗油、穀物及び同調製品が前年を上回り、全体で6.7%増と3か月ぶりに前年を上回った。

【雇用情勢】... 横ばい

2月の有効求人倍率は前月を0.03ポイント上回る1.21倍となった。県内求人数を業種別にみると、卸小売は前年を上回り、製造業、建設業、医療・福祉は前年を下回った。

【金融情勢】... 貸出金残高は前年を上回った

2月の県内金融機関の貸出金残高は前年を0.9%上回った。

【企業倒産】... 倒産件数は前年を下回った

3月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が1件で前年同月（2件）を2か月連続で下回った。一方、負債総額は35百万円で前年同月（83百万円）を下回った。

以上

【本件に関するお問い合わせ】 (株)九州経済研究所 (Tel 099-225-7491)